



いよいよ学習の秋

夏休みと体育祭が終わり、9月も30日を迎えました。4月からの1年で考えるとちょうど折り返し地点です。3年生は就職試験も始まり、結果が届きだしたところです。進学においても専門学校・短期大学では受験が始まっています。進学も受験が本格化していきます。

今年度からエアコンが各教室に入り、授業や補習では大変能率が上がったように感じますね。朝夕も昼間に比べ、だいぶ涼しくなりました。エアコンの出番も少なくなることでしょう。特に3年生は体調の管理をしっかりとって受験に臨んでください。

「○○の秋」といえばそれぞれに思いつくことがあるでしょうが、涼しくなり環境の整ってきた今こそが「学習の秋」ではないでしょうか。後述することに注意しながら意識を高め、学習に励んでください。

進路希望は見えてきましたか（1年生）

3年生でももしかしたらまだ受験希望先の決まっていない生徒がいるかもしれませんが、1・2年生はどうでしょうか？夏休みにオープンキャンパスに行って受験希望先を確かめた生徒も多かったようです。また1年生は夏季補習中に「卒業生と語る会」が実施され、先輩方の進路の決め方や現況を聴くことができ、参考になりましたね。是非もう一度先輩方の話とそのときの自分の気持ちを思い出してもらいたいです。

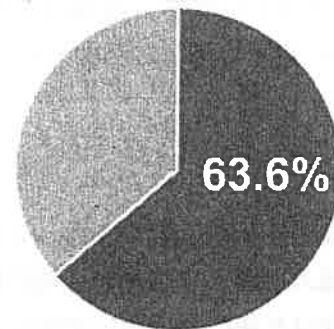
特に普通科1年生は今学期中に来年のコース選択を決めなければなりませんし、文理コースを選択する場合、文系か理系かを決めなければなりません。進学と就職でまず分かれますが、進学する場合も大学・短期大学や専門学校それぞれで違います。たとえば受験科目一つをとっても、大学の試験科目に数学Ⅲや理科の2科目が指定されている場合は理系を選択しなくては受験できませんし、センター試験で地歴と公民の両方が課されている場合は文系に進む必要があるでしょう。自分が将来何になるのかを明確にしながら選択する必要があります。進路資料室には各大学や専門学校のパンフレットが準備してあります。分からないところは、担任の先生や進路指導室の先生に質問してください。

学力の向上 = 学習の量 × 学習の質(2年生)

3年生が受験になったということは、受験まで1年生はあと2年、2年生はあと1年ということです。これからの学習は受験に向けて重要な意味を持ててきます。学習習慣の改善を「量」と「質」の両面から考えてみましょう。

参考として下に示すデータは昨年の2年生のデータです(出典 Benesse スタディサポート2年生第2回全国集計)。2年生の秋に成績の良かった人を成績◎、成績の良くなかった人を成績▲と表しています。

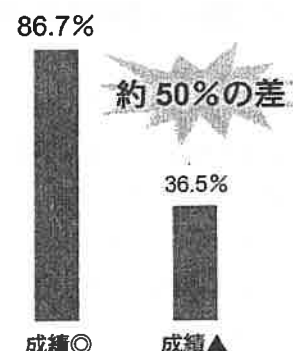
<データ① 学習の量>



この数値は「平日2時間以上勉強している成績◎の割合」を示しています。全国の成績が良かった人の60%以上の生徒は**学習時間を2時間は確保している**ということです。

皆さんは夏休み以降生活のリズムは崩してはいませんか？起床時刻・学習開始時刻・就寝時刻の3点を固定することを心がけるために、1日のスケジュールを見直してみましょう。どこかにまだ無駄になっている部分がありませんか？少しでも改善し、**自分の学年+1時間以上の学習時間の確保**に努めてください。

では、次のグラフは何を示しているでしょう。



学力の向上 = 学習の量 × 学習の質②

<学習の質>

表面の最後のグラフは、50%の開きがありましたが、これは成績◎の生徒と成績▲の生徒の学習について調べたものでした。学習したことが身につくように単に覚える学習ではなく、「理解に努める」よう努力したり、「他のものに関連づけて学ぶ」など工夫したりしている生徒の割合です。皆さんも「なぜ」そうなるのかを繰り返し、徹底的に理解することを心がけた学習をしてください。「なぜ」を追求し、先生方に休み時間や放課後を利用して質問すればより効果的になります。

以下は学習の質を上げるヒントとして国語・数学・英語の3教科について成績◎と成績▲で大きく差が開いた項目を挙げています。各項目でチェックを入れ、抜けている項目は今後の学習に取り入れましょう。

<国語>

- 評論文は論の展開や構成に注目して読んでいる
- 小説は登場人物の心理などを表現に即して読む
- 古文や漢文は文中の指示語に注意し、読解する
- 古文や漢文は主語の省略を述語から類推する

<数学>

- 問題を解くとき図やグラフを利用する
- 問題に取り組む前に解き方を推測して解く
- 解けない問題はどこが不明かを明らかにする
- 公式や定理は実際の問題で理解を深める

<英語>

- 前後の文脈から語句の意味を推測する
- 英文の読解では、文全体の筆者の主張を捉える
- 英文の読解では、接続詞や指示語を意識する
- 状況描写では様々な表現を吟味し伝えている

参考になったでしょうか？普通科の生徒は10月の実力考査や11月の模試に向けた学習にも精を出してください。学習の「量」と「質」についてまとめてみましたが表題にもあるように「量」×「質」です。両方を上げていけば、相乗効果を発揮します。学習への姿勢を改めてみましょう。

国公立大学の個別試験について(3年生)

専門学校や短期大学、私立大学等では受験が始まっていることは前述したとおりです。いよいよ大学等におけるセンター試験の出願が迫ってきました。受験生は抜かりのないよう準備してください。

今回は確認ということで、センター試験後に行われる国公立大学の個別試験の概要について簡単に説明したいと思います。

個別試験の概要

国公立大の個別試験は、「前期日程」「後期日程」「中期日程」の組み合わせで最大3校の受験が可能です。ここで注意したいのが、前期日程で合格し、入学手続きを行うと、他の中・後期日程を受験していても合格対象にはならないということです。したがって、**第1志望校は前期日程で受験することが鉄則です。**

後期日程については、定員が少なく志願倍率が高くなる傾向にありますが、実際は前期日程合格者が受験しないこともあるので、合格のチャンスは決して小さくはありません。特に国公立大を志望している場合は、**最後まで国公立大学を目指すことが重要です。**

なお、個別試験は配点の比率が各大学等で大きく異なります。「センター試験の配点が高い大学」ではセンター試験で点数が取れなければ受験しても個別試験で逆転できずに合格が困難になります。**基礎固めを重視し、センター試験対策に力を入れるべきでしょう。**また「個別試験の配点が高い大学」は難関大学と呼ばれるところに多く、その試験で6割取れば合格するような難問が出題されます。センター試験後の対策では間に合いません。**できるだけ早く受験教科の苦手をなくし、傾向を調べ、対策することが必要です。**

各大学から、毎年秋ごろ(遅くとも12月中旬まで)に「学生募集要項」が発表されます。入試に関する確定情報が記されていますので、第一志望校はもちろん受験予定校の「募集要項」は早期に入手し、確認しておきましょう。

今後の進路行事

- ・10/9(水)～11(木)…中間考査
- ・10/12(土)・13(日)…進研記述模試(3年)
- ・10/26(土)・27(日)…全統マーク模試(3年)
- ・10/28(月)・29(火)…実力考査
- ・11/2(土)・3(日)…進研模試(全学年)